

花巻市は岩手県のほぼ中央部に位置し、06年1月1日に旧花巻市と稗貫郡大迫町、石鳥谷町及び和賀郡東和町が合併し、現在の花巻市となった。全国的には宮沢賢治生誕の地、高村光太郎が戦中から戦後にかけて農耕自炊生活を送った地、あるいは菊池雄星や大谷翔平の母校である花巻東高校の地元として知られている。

構造改革特区に

人口は10月1日現在9万4804人で、県内では盛岡市、一関市、奥州市に次ぐ人口を擁しているが、最近1年間で1000人余り減少するなど少子高齢化が進んでおり、地価も下落基調が続いている。一方で、市内には東北新幹線、高速道路に加えて県内唯一の空港があるなど交通

インフラが充実しており、宮沢賢治や高村光太郎ゆかりの名所・施設、東北有数の規模

一般財団法人日本不動産研究所^①

地域資源を生かす

～まちづくりからインバウンドまで

花巻市大迫 ぶどうの里

を誇る花巻温泉郷、北上高地の最高峰である早池峰山等の観光資源も豊富なため、年間の観光客は200万人を超えている。

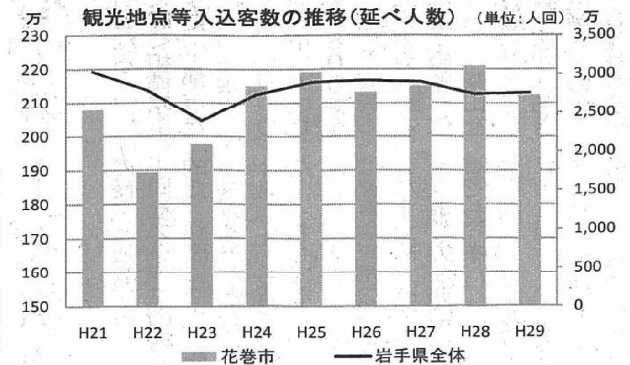
この地域は古くから酒造りが盛んであり、旧石鳥谷町は「南部杜氏の里」として知られているが、最近では大迫おほはさま地区(旧大迫町)が「ぶどうとワインの里」として県外に浸透しつつあり、週末には観光客で賑わっている。

当地区では、石灰質の土壌、ぶどう育成期の降水量が少なく、日中の寒暖差等の栽培に適した気候風土から県内

000リ キュールは同 じく1000 製造数量が2 果実酒は最低

た、市内で生産された農作物(ぶどう、りんご、西洋なし、ブルーベリー、梅)を原料とした

000リ キュールは同 じく1000 製造数量が2 果実酒は最低



※ H21～H26は年度、H27～H29は年で集計。岩手県商工労働観光部観光課の岩手県観光統計概要を基に作成

市が農家の支援に乗り出す

ワイン造り軸に観光振興

でもいち早く戦後間もなくからぶどう栽培が始まり、1974年には第三セクターの「株式会社エーデルワイン」が設立され、地域のワイン産業を牽引してきた。

さらに、16年11月には内閣府の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農家民宿、農家レストランなどを営む農業者は自ら生産した果実を原料にした酒類製造において酒税法の最低製造数量(年間60

生産者、畑は減少

一方で、農家の高齢化や後継者不足等により市内のぶどう生産者及びぶどう畑は減少傾向にあり、市は農地の賃借料補助や技術習得の新規就農支援等の補助に乗り出しており、17年には農地法における農地取得要件を50アールから10アールへ緩和し、また、市

第三セクターのエーデルワインが地域のワイン産業を牽引



大迫をPRするモニュメント



所(不動産鑑定士・昆野吉隆)

外からぶどう栽培を目的に移住する人に対して引っ越し費用や改修費用の住宅支援等も行っている。

毎年9月には「おほはさまワインまつり」が開催され、焼魚やチーズ、バーベキューなどの地元の食をワインとともに楽しむことができ、さらにはワイン娘のぶどう踏みやユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽も上演され、毎年県内外からの環境客で賑わっている。

名所を巡り、温泉に浸かり、ワインが楽しめる。これからは観光を軸とした地域の発展が期待される。——大迫 半端ないって！(盛岡支